

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 05020341 A

(43) Date of publication of application: 29.01.93

(51) Int. Cl

G06F 15/24

(21) Application number: 03169717

(71) Applicant: FUJITSU LTD

(22) Date of filing: 10.07.91

(72) Inventor: OKABE HIDEAKI

(54) INTERACTIVE COMMODITY REGISTER SYSTEM
USING PLURAL INPUT/ OUTPUT DEVICES

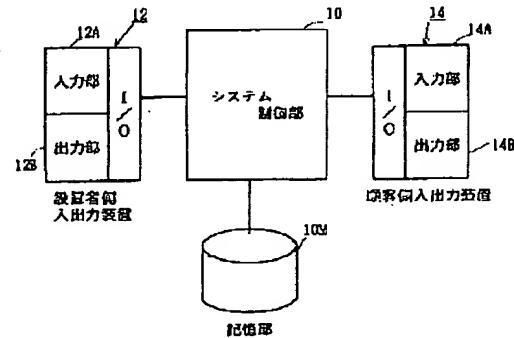
while having a conversation through respective
input/output devices 12 and 14.

(57) Abstract:

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio

PURPOSE: To prompt a customer to select and order goods while presenting optimum goods information to him by performing selection, ordering, registration, etc., of goods in the interactive system to an operator as a system installer by the customer.

CONSTITUTION: The operator inputs required information from an input part 12A of an installer-side input/output device 12. A system control part 10 selects corresponding information from information stored in a storage part 10M in accordance with this input and outputs it to its own output part and an output part 14B of a customer-side input/output device 14. The customer inputs a required order from the customer-side input/output device 14 in accordance with his selection. Goods information including goods classifications, sizes, quantities, etc., is outputted to an output part 12B of the installer-side input/ output device 12 by the control of a system control part 10. Thus, the operator on the system installer side and the customer introduce commodity information, select goods, and register goods



(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-20341

(43) 公開日 平成5年(1993)1月29日

(51) Int. C1. 5
G 06 F 15/24

識別記号 庁内整理番号
7218-5 L

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 5

(全8頁)

(21) 出願番号 特願平3-169717

(22) 出願日 平成3年(1991)7月10日

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

(72) 発明者 岡部 秀明

群馬県前橋市問屋町1-1-1 N F 2ビル

株式会社群馬富士通内

(74) 代理人 弁理士 井桁 貞一

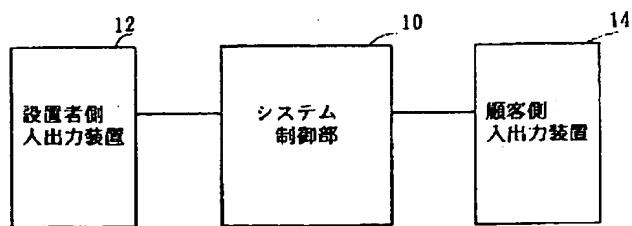
(54) 【発明の名称】複数の入出力装置を用いた対話式商品登録方式

(57) 【要約】

【目的】本発明は、販売商品の注文、品揃え、集計等を管理するシステムにおける複数の入出力装置による対話式商品登録方式を提供することを目的とする。

【構成】システム設置者側の操作する入出力装置12に加えて、顧客自身が操作し得る入出力装置14をシステム制御部10に接続し、システム側と顧客とが対話形式で商品の発注および登録を行う、複数の入出力装置を用いた対話式商品登録方式を特徴とする。

本発明の原理構成図



商品登録方式は、オペレータが入出力装置12の入力部から必要情報の入力を行う。

【0017】この入力に応じてシステム制御部10を作動させ、記憶部に格納されている情報中の対応情報を選択して自己の出力部ならびに顧客側入出力装置14の出力部に対して商品情報の出力を行う。

【0018】システム制御部10は、このような条件のもとに引き続きオペレータ側入出力装置12から入力をを行うことができる。一方、顧客は、入出力装置14から自己の選択に従って必要とされる注文入力をを行う。

【0019】顧客側入出力装置14から入力された商品種別、サイズ、数量等を含む商品情報は、システム制御部10の制御のもとにオペレータ側入出力装置12の出力部に出力される。

【0020】このように、システム設置者側のオペレータと顧客とはそれぞれの入出力装置を介して対話しながら商品情報の紹介、商品選択、商品の登録を実施することができる。

【0021】かかる構成によれば、豊富かつ詳細な商品情報を正確に提示しつつ顧客による商品選択、注文、登録が可能となり、サービスの向上が期待できる。

【0022】

【実施例】図2は、図1に対して基本的機能を付加したブロック図であり、同一要素には同一の符号を付している。システム制御部10には、記憶部10Mが付属しており、入力制御及び出力情報領域と商品に関する選択・入力データを登録する領域とを具備している。

【0023】入力制御及び出力情報領域にはオペレータ側および顧客側からの入力に応じた処理を行うための処理プログラムと商品情報とが格納されている。また、商品に関する選択・入力データを登録する領域は、選択された商品の種類、単価、数量等を集計し登録するものである。

【0024】各入出力装置12および14の入力部12Aおよび14Aは、キーボード、タッチキー、バーコードリーダ等の適宜入力手段のいずれかまたはこれらを複数組み合わせたものを使用することができる。

【0025】各入出力装置12および14の出力部12Bおよび14Bは、各種表示装置をはじめ音声報知装置、印字装置等を適宜選択しまたは組み合わせて使用することができる。

【0026】図2のような構成においては、システム設置者である店舗側のオペレータが、商品群に関する特徴や価額等の各種情報を顧客側の出力部14Bに出力するように操作する。

【0027】システム制御部10は記憶部10Mのプログラムおよび記憶データに従って対応する出力を両出力部12Bおよび14Bに表示する。顧客は、この出力部14Bの出力を参考にしながら、さらには必要な質問を入力部14Aから入力をしつつ順次必要な商品の選択な

らびに決定された注文情報を入力する。

【0028】図2におけるオペレータ側の入出力装置12がレジスター端末装置であり、顧客側の入出力装置14がカウンターの近くに設置してある実施例においては、このような顧客の商品選択および決定の過程において、オペレータは顧客の質問に応じて必要な補助をすることができる。

【0029】当然、オペレータが顧客の口頭による注文を聴きつつ、全体の入力をすることもできる。

10 【0030】他の実施例においては、図3のようにシステム設置者側の入出力装置22を店舗の制御用空間であるバックヤードに設置しておき、多数の顧客側入出力端末装置24-1、24-2、…を売り場内の任意場所、例えばオーダー用テーブル上や飲食用テーブル毎に、ディスプレイおよびタッチキー等の入出力装置を設置するように構成することもできる。

【0031】この場合、システム設置者側の入出力装置22と顧客側の入出力端末装置24-1、24-2、…との間は、インターホンその他の音声回線で通話し得るようにしておくと都合がよい。

【0032】かかる構成によれば、システム設置者側の入出力装置22から複数の顧客側入出力装置24を制御することができ、店舗内人員数を低減し、理想的にはシステムの構成を高度化し、無人化することもできる。

【0033】人件費がますます高騰しオペレータの確保が困難になりつつある社会情勢下にあっては大きな利点がある。なお、システム設置者側の入出力装置22も適宜台数とすることは任意である。

【0034】さらにこのようなシステムを発展させて、30 センターオフィスと顧客との間をオンライン接続しておき、顧客の自宅または市街地の適当な場所に設置されたショッピングポスト等の端末装置から商品の注文および登録を行い、当該商品の配送をうける、いわゆるホームショッピングシステムを構築することも可能である。

【0035】顧客の確認はIDカードおよび暗証コード等で行い、支払いは登録してある口座から引き落とすようになることができる。

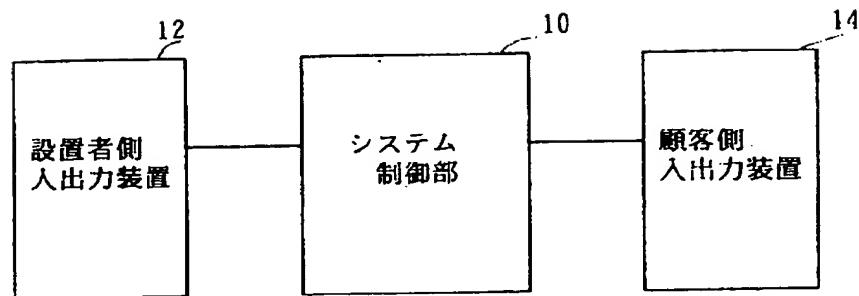
【0036】図3のような実施例においては、システム設置者側の入出力装置12の登録データは、料理または40 商品等の調理場、出荷場所、物流拠点等に直接伝達されるようになると都合がよい。

【0037】図4は、オペレータ側入出力装置12と顧客側入出力装置14が比較的近接して設置され、オペレータ主導の下に商品の選択・登録が行われる実施例におけるオペレータ側および顧客側の入出力装置、制御部のそれぞれの動作を示すフローチャートである。

【0038】取引開始に応じて商品選択情報が口頭またはインターホン等を介して顧客からオペレータに伝達されると、オペレータは商品コードまたは単価、数量等の商品情報の入力をを行う（ステップS1）。

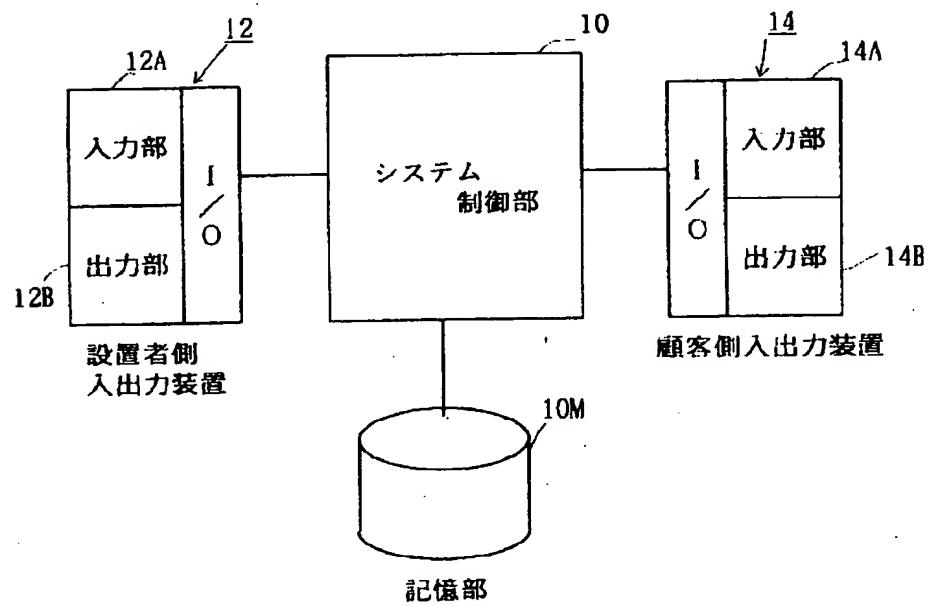
【図1】

本発明の原理構成図



【図2】

本発明を実施するための基本構成例



【図4】

本発明の実施例の動作を示すフローチャート

